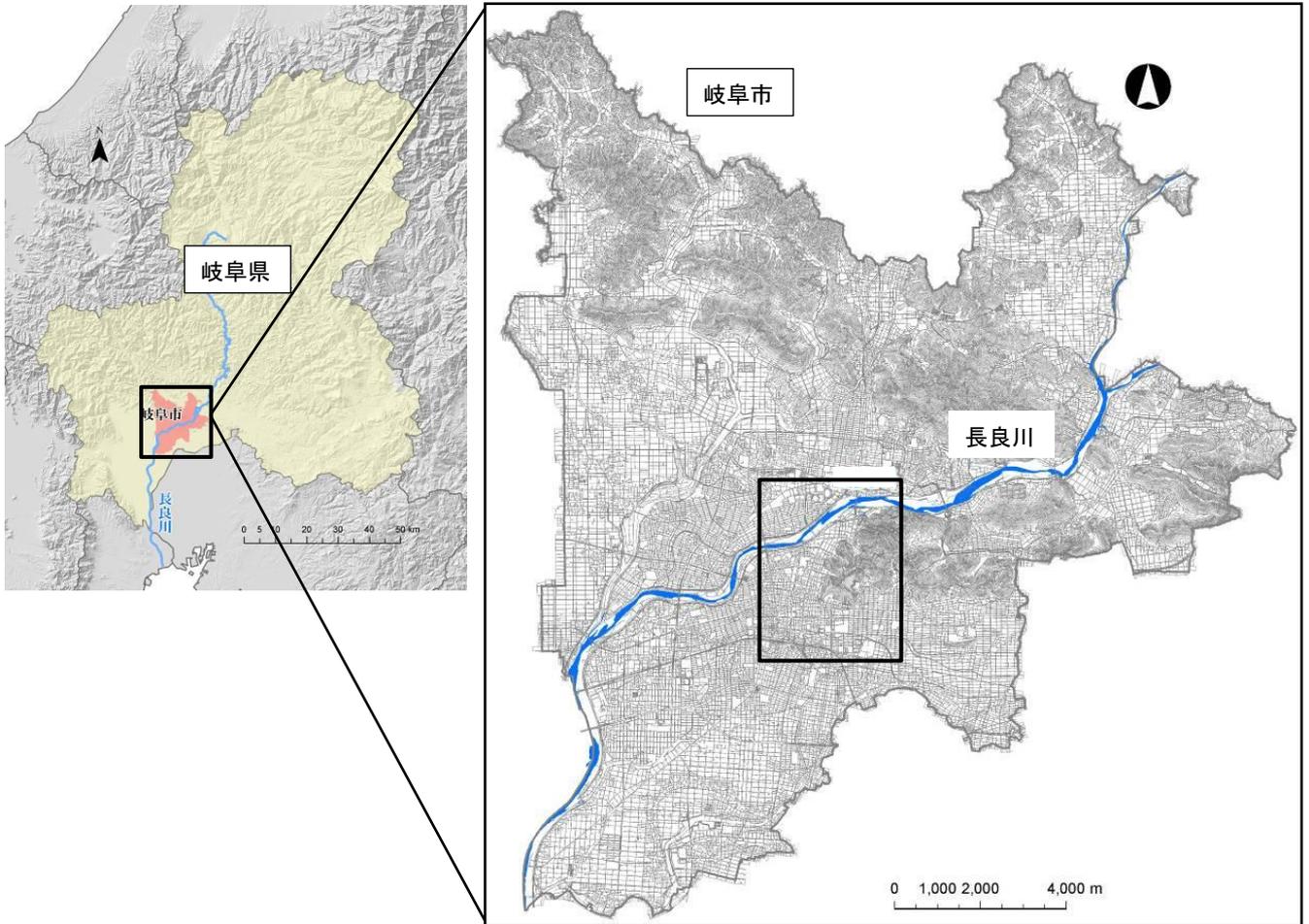
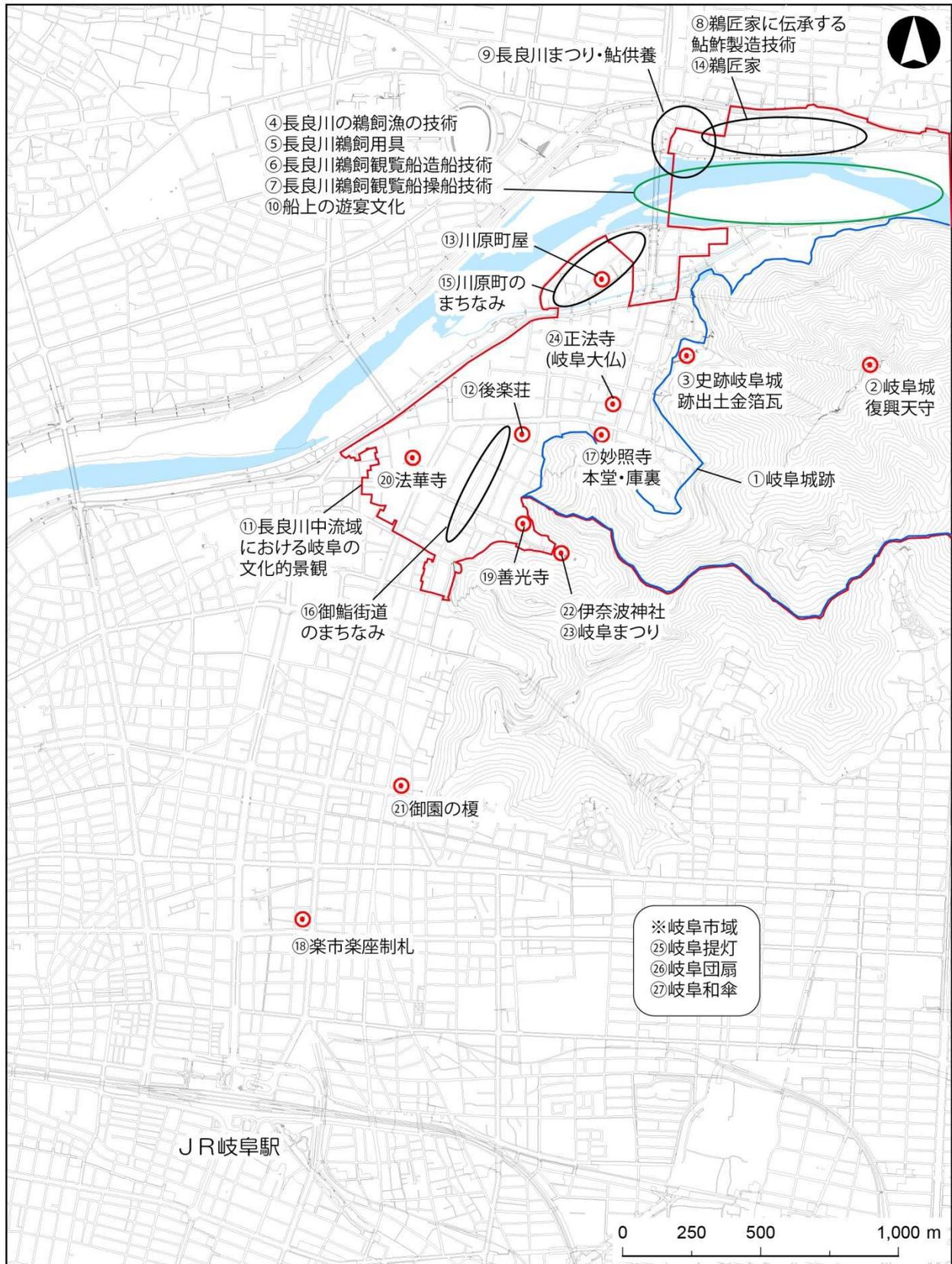


① 申請者	岐阜市	② タイプ	<input type="checkbox"/> 地域型 / シリアル型 A <input checked="" type="checkbox"/> B C D E
③ タイトル			
【「信長のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜】			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下一帯を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。</p> <p>自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。岐阜城が城としての役割を終えた後も信長が形作った城・町・川文化は受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。</p>			

市町村の位置図 (地図等)



構成文化財の位置図 (地図等)



## ストーリー

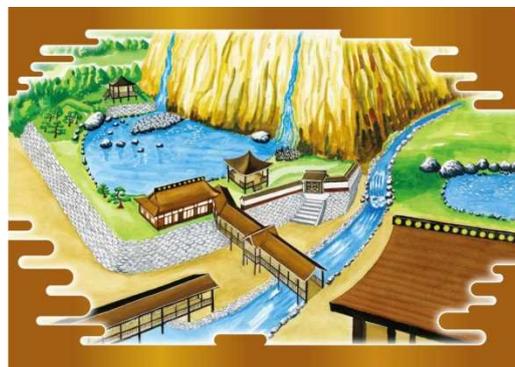
戦国時代、織田信長の義父にあたる齋藤道三は井口（いのくち）と呼ばれる城と町を築いた。後にその町を手に入れた信長は、この地を岐阜と名付けるとともに「天下布武」を掲げ、天下取りの夢に邁進する。日本史上、最も有名な人物の一人である彼は、冷徹非道、戦上手、改革者、破壊者等のイメージで語られることが多いが、急峻な岐阜城やその城下で行ったのは戦いではなく、意外にも手厚いおもてなしであった。信長は軍事の力で征服するだけでなく、文化の力で公家、商人、有力大名等の有力者をもてなすことで、仲間を増やしていったのである。

岐阜城に入城した信長は、最初に城の大改造に着手する。山麓では比類ない巨大庭園を持った迎賓館が造られた。近年、岩盤を自然風に加工した庭園が発掘調査により複数見つかっており、その全体像が判明しつつあるが、それはまるで山水画の世界を原寸大で再現したような壮大なスケールで、他に例がない。ルイス・フロイスは、山麓の建物を「宮殿」と称し、「地上の楽園」のようであったと記している。山上の城郭部分は石垣を用いて堅固な城郭に造り替えられたが、信長はなんとその場所にも人を招いた。このように彼は戦いを進める一方、金華山や長良川の美しい自然環境や眺望を活かして、岐阜の地に最高のおもてなし空間を創出していったのである。そして限られた人しか入れない特別な場所で、通常家臣が行うような案内や給仕を自ら行う、これが信長流のおもてなしであった。

武田信玄の使者「秋山伯耆守」、京都の公家「山科言継」、堺の茶人・商人「津田宗及」、そしてイエズス会宣教師の「ルイス・フロイス」や「フランシスコ・カブラル」、多くの有力者が信長に会いに岐阜を訪れ、冷徹なイメージを覆すおもてなしを受けている。そして、その様子は国内のみならず、手紙を通じて広くヨーロッパにも伝わった。

もてなしの拠点である山麓居館は訪問者が最初に招かれる場所で、そこでは建物や庭の見学、踊りと歌、オヤツや食事、贈り物等が行われた。日本布教長フランシスコ・カブラル来訪の際、信長は歓迎の晩餐会を開くが、食事までの待ち時間に自ら果物を持っていくとともに、庭にいる鳥を殺させて料理に出すよう命じている。また名物茶器拝見のため訪れた津田宗及に対しては、彼のためだけの茶会を開き、美濃特産の干柿を含んだ豪華な料理を振る舞うなどして、その思いに応えた。堺の代表的な町衆であった宗及の扱いは破格で、食事の給仕は信長の息子信雄が行った上、飯のおかわりは信長自らがよそっている。

フロイスや山科言継は山上にも招かれ、軍事施設である城内の見学をした。豪華な座敷では音楽を聴きお茶や食事をいただいたが、その際も信長が膳を運んだり、給仕を行った。濃尾平野を一望する山上からの絶景は、昔も今も大



山麓居館の庭園復元イメージ



津田宗及に振る舞われた料理の復元



フロイスと信長（イメージ）

きな見どころである。言継は「**険難の風景、言語に説くべからず**」とその感想を記している。

信長は、楽市楽座の一方で川湊の商人に舟木座の結成を認めるなど柔軟なまちづくりを行い、道三が築いた長良川の水運を基軸とした城下町を**国内有数の商業都市**へ発展させた。街路はこの時から変わっておらず、「**戦国城下町**」としての町の骨格は、現在に継承されている。フロイスはその町に一万人が住んでいたと記し、賑わいの様子を「バビロン」の混雑と表現した。また柴田勝家の邸宅では「食事を  
するまで帰してもらえなかった」そうで、**城下町での手厚いおもてなし**ぶりが窺える。

言継は一ヶ月以上に及ぶ岐阜滞在期間中に、善光寺や法華寺など城下町の名所を訪れているが、評判の灯籠は人ごみが激しかったため見物を断念している。時期が合えば伊奈波神社の祭礼も見物しただろう。**岐阜まつり**と呼ばれる一連の祭礼は地域を代表する祭りとして継承されており、踊山車やカラクリ山車、神輿の練り込みが披露されるなど春の風物詩となっている。城下町では団扇など、上流から運ばれた和紙や竹などを用いた文化が育まれた。その文化は廃城後もさらに洗練され、提灯や和傘、そして日本最大の漆箔の大仏である岐阜大仏を生み出し、町に更なる賑わいをもたらした。

秋山伯耆守は山麓での食事や能の鑑賞の後、長良川での船による**鵜飼観覧**に招かれた。信長は武田信玄に気を遣い、獲れた鮎を自ら確認して甲府に届けさせている。また信長は「鵜匠」の名称を与え、禄米十俵を給して保護したと伝えられており、その後も徳川家康・秀忠親子が鑑賞しこれを称えたことで、鵜飼は時代を通じて大事に守られてきた。

松尾芭蕉は「**おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな**」と有名な句を残しており、近代には英国皇太子やチャップリン等、国内外の賓客が鵜飼観覧に訪れている。

鵜飼でとれる鮎は、柿と共に古代から美濃の特産品であった。江戸時代になると町中の御鮎所で調製された**鮎鮎**が、御鮎街道と呼ばれる道を通って將軍家に献上されるようになる。現在も鵜匠家には鮎鮎の製造技術が伝承され、年末年始の贈答用として製造されている。鵜飼を中心としたお客をもてなすための様々な技術や遊宴文化は今も伝承され多くの観覧客を魅了しているが、このような**鵜飼文化は日本独自の**ものであり、現代まで途切れることなく受け継がれているものは長良川の鵜飼のみである。

自然景観を背景に行われる饗応は、中世以前から日本各地に存在するが、その根底には自然に溶け込むことに美意識を見出すという**日本人の伝統的な価値観**がある。信長は金華山や長良川、城下町の賑わいが一体となった素晴らしい景観や鵜飼文化にその価値を見出した上で、軍事施設である城に「**魅せる**」という**独創性を加え**、他に例の無いおもてなし空間としてまとめあげ、饗応を行った。岐阜は**信長自慢のおもてなし都市**だったのである。その**信長が形作った戦国時代の城・町、そして長良川の鵜飼文化**は、岐阜城が城としての役割を終えた後も受け継がれ、今も岐阜の町に息づいている。

なお、信長はフロイスとの別れ際に次のように告げている。「**美濃へは何度でも訪れよ**」と。



岐阜まつり



鵜飼観覧の様子

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	岐阜城跡	国史跡	信長の居城。山上の城郭と山麓の居館の2ヶ所でもてなしが行われた。江戸時代も尾張藩主らが見物に訪れており、明治以降になると一般に開放された。	
②	岐阜城復興天守	文化的景観 重要な構成要素	天守からの眺めは多くの人を魅了した。その姿は、遠くからでも存在感を示し、岐阜市のシンボルとして親しまれている。現在は昭和31年に造られた2代目の復興天守。	
③	史跡岐阜城跡(織田信長居館跡)出土金箔飾り瓦	市重要文化財	岐阜城山麓のもてなしの場である中心建物を飾った金箔瓦。日本で初めて城郭で用いられた。	
④	長良川の鵜飼漁の技術	国重要無形民俗文化財	近世以前からの伝統を継承した漁法。信長をはじめとする時の権力者は、鵜飼見物をおもてなしとして用いた。江戸時代以降もチャップリンをはじめ、世界の賓客が見物している。	
⑤	長良川鵜飼用具	国重要有形民俗文化財	長良川の鵜飼に関する用具一式。鵜匠の伝統的な装束は江戸時代後期には成立した。	
⑥	長良川鵜飼観覧船造船技術	市無形民俗文化財	客を乗せるために屋根を備えた観覧船の需要が高まり、他の川船と異なる観覧船造船技術が発達した。	
⑦	長良川鵜飼観覧船操船技術	市無形民俗文化財	船からの鵜飼見物を支える船頭の操船技術。河床が川石である環境に合わせ、サオを主体にカイを併用する操船技術が発達した。	
⑧	鵜匠家に伝承する鮎鮎製造技術	市無形民俗文化財	古代から献上品として珍重されてきた鮎鮎の製造技術。岐阜の食文化を示すもので、今も年末年始の贈答用に製造されている。	
⑨	長良川まつり・鮎供養	未指定	鵜飼にまつわる祭事。旧暦6月6日に神明神社で行われる水運安全祈願の祭礼で、同じ日には鵜匠をはじめとする関係者による鮎供養の祭事が行われる。	
⑩	船上の遊宴文化	未指定	長良川の舟遊びの文化。中世においても鵜飼観覧と舟遊びは一体のものであった。現在も長良川鵜飼から生まれた小唄「風折烏帽子」などの伝統的な遊興文化が良好に継承されている。	
⑪	長良川中流域における岐阜の文化的景観	国重要文化的景観	もてなしの舞台となった長良川、岐阜城・金華山、城下町一帯の景観。街区などのまちの骨格は戦国時代にまでさかのぼる。	

⑫	後楽荘（日本料理店）	文化的景観 重要な構成要素	まちでのおもてなしの場のひとつ。明治時代以降、金華山を眺望できる部屋で客をもてなした。
⑬	川原町屋（喫茶店）	文化的景観 重要な構成要素	まちでのおもてなしの場のひとつ。天守を眺望できる部屋をもうけて、客をもてなした。部屋は明治末の復興天守建設を受けて造られた。
⑭	鵜匠家	文化的景観 重要な構成要素	鵜飼屋地区に存在する6件の鵜匠の家。主屋のほか、鵜の世話や漁の運営に必要な鳥屋、水場、松小屋などが設けられている。
⑮	川原町のまちなみ	文化的景観 重要な構成要素	川湊の近くに発展した集落。かつては多くの紙問屋や材木問屋が軒を連ね、現在も独特の白木の格子が続く美しい町並みが継承されている。一部の建物は文化的景観の重要な構成要素となっている。
⑯	御鮪街道のまちなみ	文化的景観 重要な構成要素	当時の主要道路。江戸時代、鮎鮪を江戸まで運んだため御鮪街道と呼ばれるようになった。現在も旧紙問屋など多くの店舗が立ち並ぶ。
⑰	妙照寺本堂・庫裏	市重要文化財	江戸時代、松尾芭蕉が約1ヶ月滞在した寺。芭蕉はここを拠点に金華山登山や鵜飼見物を行った。また岐阜御成の際には藩主の休憩所ともなった。
⑱	楽市楽座制札附織田信長 百姓帰住制札 5点	国重要文化財	当時のまちのにぎわいを物語る資料。信長がまちの活性化のため出した制札。
⑲	善光寺	未指定	山科言継が訪れた城下町の名所で、滞在中に2度お参りに訪れている。信長の嫡子信忠により信州の善光寺如来が移されていた時期もあった。
⑳	法華寺	未指定	山科言継が訪れた城下町の名所。信長の入城後に清須から移転したと伝えられる寺で、言継は長良川とセットで訪れている。
㉑	御菌の榎	市史跡	当時のまちのにぎわいを物語る場所。楽市の市神として祀られたとされる榎で、江戸時代、朝日文左衛門は金華山観光をする前に立ち寄っている。
㉒	伊奈波神社	未指定	天文8（1539）年、築城に伴い齋藤道三が金華山から現在地に移したと伝えられる。岐阜市の総氏神で旧県社。
㉓	岐阜まつり	市有形民俗文化財	中世から続く伊奈波神社の祭礼。現在は4月第1土曜日に行われている。江戸時代の史料には27台の山車が描かれるなど町を挙げての祭りであった。現在残されている4台の山車は、市の文化財に指定されている。
㉔	正法寺（岐阜大仏）	文化的景観 重要な構成要素 県重要文化財 市重要文化財	材木や竹、和紙等からなる民芸的な大仏は、大仏殿と一体で造られ、町のランドマークになっている。武家屋敷跡地に立地しており、まちでのおもてなしの拠点の一つ。近年まで境内で精進料理も提供していた。

②⑤	岐阜提灯	国登録有形民俗文化財 (H28. 1. 15 答申、 H28. 3 告示予定)	上流から運ばれた美濃和紙と近隣で産出された良質の竹を利用して造られる工芸品。言継の記録にある、京都まで評判が知れ渡っていた美濃の灯籠は、この提灯であった可能性がある。	
②⑥	岐阜団扇	未指定	美濃の手漉き和紙と良質な竹を用いて作られた工芸品。室町時代には岐阜の団扇が宮中に献上されていたとの記録がある。	
②⑦	岐阜和傘	未指定	江戸時代、下級武士の内職として奨励されたことにより、地場産業としての基礎が確立された。現在も、加納地区を中心に伝統の技が受け継がれている。	

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例：国史跡、国重文、県有形、市無形、等)。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

## 構成文化財の写真一覧

① 岐阜城跡



② 岐阜城復興天守



④ 長良川の鵜飼漁の技術



⑤ 長良川鵜飼用具



③ 史跡岐阜城跡（織田信長居館跡）出土金箔飾り瓦



⑥ 長良川鵜飼観覧船造船技術



※複数ページにわたっても可

⑦長良川鵜飼観覧船操船技術



⑩船上の遊宴文化



⑧鵜匠家に伝承する鮎鮓製造技術



⑪長良川中流域における岐阜の文化的景観



⑨長良川まつり・鮎供養



⑫後楽荘（座敷からみた岐阜城）



※複数ページにわたっても可

⑬川原町屋 (座敷からみた岐阜城)



⑯御鯨街道のまちなみ



⑭鵜匠家



⑰妙照寺本堂・庫裏



⑮川原町のまちなみ



⑱樂市樂座制札



⑱善光寺



㉒伊奈波神社



㉓法華寺



㉔岐阜まつり



㉕御菌の榎



㉖正法寺 (岐阜大仏)



②⑤ 岐阜提灯



②⑥ 岐阜団扇



②⑦ 岐阜和傘



## 日本遺産を通じた地域活性化計画

## (1) 将来像 (ビジョン)

戦国時代、織田信長公は天下統一の戦(いくさ)を進める一方、城の山麓に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、さらに軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下一帯を最高のおもてなし空間としてまとめ上げる。岐阜を来訪した有力者は壮観な光景と冷徹なイメージを覆すおもてなしに驚き、感激した。**驚き(Surprise)**、**満足(Satisfaction)**、**壮観(Spectacle)**の3つのSで特徴づけられる信長公のおもてなしは、文化として受け継がれ、現在のまちに息づいている。岐阜市の日本遺産は、これまで個別に紹介されていた岐阜城や鶯飼、戦国城下町等の観光資源を「信長公のおもてなし」というキーワードで結び付けたものであり、岐阜市観光の原点といえる。

戦国時代、信長公を訪ねてきた来訪者は巨石や石垣造りの城に**驚き**、山上からの**壮観な眺めに言葉を失った**。今、発掘調査によって石垣や城郭の姿が判明しつつあり、そのおもてなしの舞台のルーツは、信長の義父・斎藤道三に遡ることも明らかになってきた。

1300年の伝統に培われた鶯飼は、室町・戦国時代から大切な客人をもてなす特別な接待の場であり、信長公も武田信玄の使者に対して、自分と同様の船を仕立てておもてなし、**鶯飼で取れた鮎を土産に持たせた**。現在、観覧船を使った水上座敷の設置や一部鶯飼観覧船の高級化など、鶯飼の新たな楽しみ方とさらなる満足度向上の検討を進めている。

また、本年3月に国の登録を受けた『ぎふ長良川鶯飼かわまちづくり計画』に基づき、信長公が日々目にしていた長良川右岸プロムナードを活用することにより、民間による栈敷やマルシェが開催されるなど、**壮観な景観を楽しむ空間づくり**を進めている。

さらに、令和2年度に認定を受けた『岐阜市文化財保存活用地域計画』では、日本遺産の**サイドストーリー**として、「国盗りの時代のまちづくりー土岐氏から斎藤道三へー」、「新時代の都市経営ー織田秀信と三つのまちー」、等の物語を設定している。

「信長公のおもてなし」を語る人材を育成するため、平成30年度からは、**日本遺産ガイドの育成**に努めるとともに、令和2年度には市の組織を改編し「ぎふ魅力づくり推進部」を設置、日本遺産を活かした観光を**一元的に推進する体制**も整えた。

このような近年の取り組みにより日本遺産のストーリーはより**深み**を増してきており、官民が連携した事業も着実に**実を結びつつ**ある。斎藤道三公や織田信長公などの戦国武将ゆかりの地として岐阜市は**歴史の重要な舞台**となり、全国に大きな影響を与えた。その歴史文化や長良川、金華山の美しい景観は、私たち市民にとってかけがえのない**大切な財産**である。

この誇るべき我がまちと人の魅力を明快に語る日本遺産ストーリーを官民一体となって活用し、全国そして世界へ発信し、多くの方に驚き満足していただくことで、市民の**シビックプライド**を醸成するとともに、**持続可能で人々に選ばれる「信長公のおもてなし」が息づく都市**となるよう、これからも本計画を推進していく。

## (1) 地域の長期的構想における日本遺産の位置付け

岐阜市における日本遺産は、日本遺産申請のベースとなった『岐阜市歴史的風致維持向上計画』（平成 25 年認定）の他、以下の長期計画に位置付けられている。

### ①『ぎふし未来地図』（計画期間 2018－2023）

岐阜市の未来の都市づくりの総合的な方針である「ぎふし未来地図」においても、岐阜市の未来の姿として、時代の変化に合わせて先進性も取り入れながら、岐阜市の個性がブランドとして認められ、国内外から多くの人々が訪れ、活力あふれるまちになることを理想としている。その姿は、450年以上も前に、この地で織田信長公が岐阜と命名した時代、楽市楽座に多種多様な人々が往来し、賑わいにあふれた時代の風景とも重ねられるとしている。そのため、観光・交流の活性化の施策の方向性として、日本遺産をはじめとした歴史・文化など地域資源を活用した観光振興を推進し、「ひととまち、集い交わる活力と笑顔あふれる成長都市ぎふ」を実現する。

また、次期計画となる（仮称）岐阜市未来都市構想においても、重要な取り組みとして位置づけていく。

### ②『岐阜市文化財保存活用地域計画』（計画期間 2020－2029）

岐阜市全域の歴史や文化を保存・活用するための方針と取り組みを示すもので、日本遺産をベースにストーリーを再構成、岐阜市版日本遺産となる「ぎふ歴史遺産」を設定した。その内容は、「斎藤道三」、「織田信長」、「織田秀信」の3人の城主に着目した戦国時代の3つのストーリーと、その背景となった岐阜の特質を物語る「自然」、「交通と産業」、「信仰」、「岐阜文化」の4つのストーリーから成る。

このぎふ歴史遺産の保存・活用の方針に基づいた事業の他、日本遺産の中核となる、史跡岐阜城跡、長良川の鶺鴒文化、長良川中流域における岐阜の文化的景観の保存・活用事業を重点事業として位置付けている。

### ③『岐阜市観光ビジョン』（計画期間 2020－2029）

ビジョンでは、観光を基軸とした持続可能なまちづくりを進めるなど、SDGsの理念を踏まえた取り組みを推進することとし、市民、行政、観光事業者等が一体となった推進体制を構築することとしている。また、マーケティング調査に基づき課題を抽出し、おもてなし・戦国城下町をキーワードに、日本遺産のストーリーと調和した5つのアクションプランを示し、「市民と描く」岐阜市未来ツーリズムをビジョンコンセプトとしてオール岐阜で取り組むこととしている。

## (2) 将来ビジョン

日本遺産を磨き活用することで**観光振興**が図られるだけでなく、市民も価値を再認識して**シビックプライド**が育まれていく。さらに日本遺産を通じた**産業活性化**の取り組みを推進し財源を確保することで、**保存と活用の好循環**の確立や**持続可能な地域活性化**に繋げていく。上記の視点に立ち、中長期的な見地に立った岐阜市のあるべき姿を、**3本の柱**「観光振興」、「シビックプライド」、「産業活性化」として設定する。

### ①観光振興 ～ 日本遺産ブランドを磨き続けているまち ～

- ・ 調査研究の成果をもとに日本遺産のストーリーを深掘りし、絶えず最新の情報を発信していくことにより、数ある観光地の中から「**何度でも訪れたくなるまち**」として選ばれている。
- ・ 「信長公のおもてなし」を観て、触れて、学んで、味わうことのできるツアーや体験プログラムの造成により、まるで信長公本人から手厚いおもてなしを受けたかのような**意外性や特別感満載の楽しいコンテンツ**が常時提供されている。
- ・ おもてなしの**空間整備**（構成文化財、観光・宿泊施設）と**人材育成**を一体的に進めることにより、充実した**受入環境**が整えられている。
- ・ マーケティング調査とデータに基づいた**観光戦略の立案**を継続的に行うことにより、時代のニーズに沿った観光施策が計画的に取り組みられ、実践されている。

### ②シビックプライド ～ 来訪者を市民ぐるみでおもてなしするまち ～

- ・ 日本遺産の継続的な普及啓発により、市民のストーリーに対する理解度が向上し、**誰でも**「信長公のおもてなし」とその**魅力を語る**ことができる。
- ・ **市民がおもてなしの当事者**として、様々な場面で活躍している。
- ・ 高校生や大学生等の若者たちとの協働で日本遺産を活用した取り組みを行うことにより、**次世代の地域プレイヤー**となる人材の発掘・育成が進められている。
- ・ 日本遺産を活用した**ふるさと教育の継続**により、学んだ子どもたちが**20、30年後**に自分の子どもにも「信長公のおもてなし」のストーリーが伝えられている。

### ③産業活性化 ～ 楽市楽座を彷彿とさせる賑わいのあるまち ～

- ・ 日本遺産に関連した多様な商品の新規開発や高付加価値化が行われることにより、観光客の購買意欲が高められ、**観光消費が拡大**している。
- ・ DMO等の舵取りによって地元企業の「**日本遺産で稼ぐ力**」が引き出されることにより、観光関連業が**活性化**している。
- ・ 日本遺産の取り組み・方向性を多くの人々と共有し、取り組み主体を段階的に拡大させていくことにより、民間事業者による**自立した取り組み**が持続的に行われている。
- ・ ふるさと納税やクラウドファンディング等の民間活力を取り入れた資金調達を積極的に行うことにより、**持続可能な財源が確保**されている。

### (3) 将来ビジョン実現のための推進体制強化

岐阜市では、平成 27 年度に日本遺産「信長公のおもてなし」岐阜市推進協議会を設立し、継続して日本遺産事業を実施してきた。

令和 3 年度からは、対象を日本遺産だけでなく、岐阜市版日本遺産となる「ぎふ歴史遺産」にも広げて歴史文化の活用を行うため、組織を「ぎふ歴史遺産活用推進協議会」に発展させる。また、先に示した将来ビジョンを実現していくため、協議会の下にワーキンググループ（WG）を設置する。WGは今後の事業の進展・細分化によって追加設置も視野に入れる。

「ぎふ長良川水辺空間活用協議会」、「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」等と連携を図るとともに、『岐阜市観光ビジョン』に基づく**地域DMOの設立検討**に際し、本協議会で検討・実施する事業の情報を共有しながら、将来的な連携体制を検討していく。

#### ○ぎふ歴史遺産活用推進協議会（年 2 回程度開催）

**内 容**：日本遺産をはじめとした歴史遺産活用に関する方針決定、事業進捗管理

**構成員**：岐阜商工会議所、岐阜市旅館ホテル協同組合、(公財)岐阜観光コンベンション協会、(一財)岐阜市にぎわいまち公社、(公財)岐阜市教育文化振興事業団、岐阜市(市長公室、企画部、都市建設部、教育委員会、ぎふ魅力づくり推進部)  
**※今後、協同組合岐阜市土産品協会の加盟を予定**

**事務局**：岐阜市ぎふ魅力づくり推進部（文化財保護課）

#### ○(仮称)岐阜市日本遺産戦略検討WG（新設）（1，2ヶ月に1回程度開催）

**内 容**：マーケティング調査、データの集約・分析・共有化

「信長公のおもてなし」の本質を探る調査研究、研究者を招聘した勉強会の開催、研究成果のPR  
データ分析と調査研究を踏まえた戦略作成  
関連事業に対する支援の検討

**構成案**：岐阜長良川温泉旅館協同組合、岐阜ホテル会、岐阜観光索道(株)、協同組合岐阜市土産品協会、(公財)岐阜観光コンベンション協会、長良川リバースケープLLP、岐阜市まちなか案内人、岐阜信長公おもてなし武将隊岐阜市（観光コンベンション課、鶺鴒観覧船事務所、歴史博物館）等

**事務局**：岐阜市ぎふ魅力づくり推進部（文化財保護課）

**事業支援**：NPO法人ORGAN〔地域連携DMO〕等

## (2) 地域活性化のための取組の概要

「信長公のおもてなし」の特徴である、**驚き(Surprise)**、**満足(Satisfaction)**、**壮観(Spectacle)**、の「**3つのS**」を迫体験できる事業を、官民が連携して推進する。

### (1) 驚き(Surprise)の迫体験事業

岐阜城山麓に造られた迎賓館。巨石を並べた通路や石垣、金箔瓦で飾られた建物、そして周囲の景観を巧みに取り入れた庭園群。それはまるで山水画の世界を原寸大で再現したかのようであった。一方、信長公は山上の軍事施設にも人を招き、城内のすべてを見学させた。訪れた人々は次々に訪れる光景に大変驚いたという。その岐阜城のおもてなし空間と出来事を迫体験できる事業を実施する。

#### 実施事業

(岐阜市主体)

- 岐阜城山麓居館の庭園遺構整備による、「地上の楽園」と称されたおもてなし空間の再現を行う。整備は、岐阜城と日本遺産を紹介するガイド施設の設置と一体で推進する。
- 岐阜城山上部の発掘調査そのものを観光資源として公開し、歴史が解き明かされる過程や新たな事実・発見を「驚き」として広く共有する。

(民間主体)

- 宣教師ルイス・フロイスをはじめとした来訪者が、岐阜城に招かれた際のルートを再現するようなまち歩きプログラムの常時提供を行う。実施にあたっては、案内を担う有料ガイド「美濃国戦国案内人」の育成及びガイド提供体制の構築を推進するとともに、「美濃国戦国ドラまち EXPO」でガイドを実践することでプログラムのブラッシュアップを行う。
- ボランティア武将隊等による観光宣伝事業や来訪者へのおもてなし、イベント実施を通じて、道三公、信長公等の武将を前面に出した戦国時代のイメージ発信を行う。

### (2) 満足(Satisfaction)の迫体験事業

信長公は限られた人しか入れない特別な場所で、最高のおもてなしを繰り広げた。武田信玄の使者に対しては、自分と同様の船を仕立てて鵜飼観覧に招き、土産に鵜飼で獲れた鮎を持たせた。通常は家臣が行う食事の世話も信長公が自ら実施するなど、細部まで行き届いたおもてなしに、どのお客様も大満足だったという。鵜飼を舞台に特別な観覧船、特別な料理を提供するとともに、気軽に楽しめるメニューも併せて検討する。

#### 実施事業

(岐阜市主体)

- 観覧船の一部を高級化することで、武田信玄の使者をもてなした御座船のような、特別感のある鵜飼観覧を提供する。また、遊覧船や、水上座敷の社会実験を通して、多様な鵜飼観覧方法を検討する。

(民間主体)

- 鵜飼の多様な楽しみ方として、鵜飼棧敷、舟遊び等のオプションの充実を図る。

- 信長公が茶人をもてなした料理をベースに開発された「信長おもてなし御膳」のブラッシュアップを行う。また信長料理をベースにした船上で楽しむことができる高級信長弁当やだれでも楽しめる廉価版信長弁当の開発につなげてゆく。
- 鵜飼観覧によるおもてなしを支える技術である鵜舟・観覧船の操船体験教室を実施。今後、体験型アクティビティとして事業化を検討する
- 信長料理に欠かせない美濃の干柿を使った土産品やスイーツ等の開発、提供を行う。

### (3) 壮観(Spectacle)の追体験事業

金華山と長良川の美しい自然と景観。ここは古くから和歌に詠まれる景勝地であり、濃尾平野を一望する山上からの大パノラマは、信長公自慢の風景であった。ここに招かれた京都の公家・山科言継は、その素晴らしい眺めに言葉を失ったと書き残している。

また、現在の町の原点は戦国時代の城下町であり、もてなしの場として機能した寺院やまちなみ、水運で発達した伝統産業が息づいている。その自然とまちの景観を活かした事業を展開する。

#### 実施事業

(岐阜市主体)

- 濃尾平野を一望する信長公自慢の風景を楽しむ機能向上のため、岐阜城天守閣の耐震化工事及び展示リニューアルを行う。
- 金華山、長良川の壮観な眺めを楽しむため、長良川右岸プロムナードの整備を行う。また、山上からの眺望をさらに高める整備を行う。

(民間主体)

- 長良川右岸プロムナードを中心に、往時の賑わいを彷彿とさせるマルシェを定期的に開催する。
- 旧城下町を舞台に、和傘や提灯を活かしたイベント「灯り物語」を開催することで、まちの風景の新たな魅力を創出し、来訪者に感動と驚きを与える。

### (4) その他の事業

(岐阜市主体)

- 日本遺産のシビックプライド向上に向けて、学校向けタブレットや副読本における日本遺産紹介、食を通じて信長公のおもてなしを学ぶ給食メニューの提供を行う。

(民間主体)

- 日本遺産の理解度向上に向けて、WGの勉強会を兼ねた「信長公のおもてなし」を考える講演会やセミナーを実施する。
- おもてなしの人材育成として、旅館や観光関係者を対象とした日本遺産研修を実施する。
- 城下町のまち歩き環境向上の環境整備として、日本遺産誘導・案内看板の充実。

### (3) 自立的・継続的な取組

ふるさと教育や生涯学習事業を通じて、日本遺産に対する**普及啓発、シビックプライドの醸成**を推進するとともに、ホームページや展示、「日本遺産」のぼり旗の掲出、イベント時のPR、市広報紙やテレビ番組等を通じて**情報発信**を推進し、認知度、理解度向上を図る。

継続的に取り組むことで、誰でも「信長公のおもてなし」とその魅力を語ることができ、市民がおもてなしの当事者（プレイヤー）として活躍することを目指す。

長良川温泉宿泊施設周辺では、日本遺産の指定以降、川原町の整備も相まって、雰囲気のある古民家を活用した飲食施設や物販施設がオープンしてきている。今後も、日本遺産エリア内における民間事業者主体の**受け入れ環境の整備**を進めていくとともに、従来型のPRに加え、フォトツーリズム及び、スポーツツーリズムなど目的を持った来訪者によるSNS等を利用した情報拡散を企画するなど、日本遺産ストーリーを中心とした**統一的な観光PR**を行う。また、日本遺産を活用し、関係自治体と**広域的な観光**を推進していく。

日本遺産を活用した事業を推進していくためには、**財源確保**が重要であり、自走化に向けた取り組みを進めていく。

#### (1) 日本遺産に関する情報発信の推進

(岐阜市主体)

- ・日本遺産・信長居館発掘調査案内所(岐阜公園)の展示内容の充実を図る。《継続》
- ・岐阜市観光案内所(岐阜駅)における日本遺産の案内充実を図る。《継続》
- ・日本遺産の構成文化財等を活用した映像作品のロケの誘致・支援。《継続》
- ・新設の外国人向けホームページにおける日本遺産の紹介《新規》

(民間主体)

- ・日本遺産に関する歴史文化、特産品等を紹介する観光総合ホームページの充実を図る。《拡大》
- ・民間店舗と連携した日本遺産の紹介展示を行う。《継続》

#### (2) 日本遺産普及啓発の推進

(岐阜市主体)

- ・小学生の鵜飼観覧補助（ふるさと大好き鵜飼事業）を実施する。《継続》
- ・博物館における中学・高校生ガイドを育成する。《拡大》
- ・岐阜市まちなか博士初級・上級試験を通じて、日本遺産理解度向上を図る。《継続》
- ・日本遺産に関する出前講座を実施する。《継続》

(民間主体)

- ・小学校での総合学習において、戦国ミニツアーの企画等の観光教育を行う。《継続》
- ・構成文化財を舞台とした民話ライブ（朗読・ミニコンサート）を実施する。《継続》

### **(3) 日本遺産エリアにおける受け入れ環境の向上**

(岐阜市主体)

- ・シェアサイクル運営事業（ポート無人化、キャッシュレス化）を実施する。《拡大》
- ・岐阜城信長公居館 VR 映像タブレットの貸出しを行う。《継続》
- ・岐阜公園再整備事業を推進する。《継続》

(民間主体)

- ・旧いとう旅館整備・活用事業を行う。《新規》
- ・宿泊施設の浴場改修、洋室の和室改修による滞在の高付加価値化を行う。《新規》
- ・周辺民間施設における地酒試飲所設置や提灯和傘体験工房の増床を行う。《新規》
- ・バス事業者によるアクセスバス実証運行やバス観光イベントを実施する。《新規》
- ・城下町の古民家再生事業を行う。《拡大》
- ・客室等への Wi-Fi 設置を行う。《継続》
- ・旅館におけるレンタサイクルサービス（チャリタビ!）を実施する。《継続》
- ・ぎふガイドタクシーの充実を図る。《継続》

### **(4) 日本遺産ストーリーを中心とした統一的な観光 PR の実施**

(岐阜市主体)

- ・スポーツイベントにおいて日本遺産の PR を推進する。《拡大》  
(ぎふ清流ハーフマラソン、FC 岐阜 (サッカー)、岐阜スーパース (バスケットボール)、  
JA ぎふりオーレナ (バレーボール) 等)
- ・日本遺産の構成文化財等を活用した映像作品のロケの誘致・支援を行う。《継続》
- ・日本遺産エリアでのクアオルト健康ウォーキング事業を推進する。《継続》

(民間主体)

- ・鉄道事業者とタイアップした集客事業を実施する。《継続》
- ・各種観光展への出展や商談会での PR を推進する。《継続》
- ・観光ポスターやデジタルサイネージを活用した PR を推進する。《継続》
- ・マスコミやブロガーを招待し、岐阜市の観光情報を発信する。《継続》
- ・海外プロモーションやインバウンド受け入れに関する取り組みを推進する。《継続》
- ・過去や今後の大河ドラマ等に連動した日本遺産の PR を行う。《継続》
- ・日本遺産エリアの景観を活用した写真コンテストを実施する。《継続》
- ・日本遺産エリアでのロゲイニングイベント (地図とコンパスを用いたナビゲーションスポーツ) を開催する。《継続》

## **(5) 日本遺産を活用した関係自治体との広域観光の推進**

岐阜市は、日本遺産サミットその他、織田信長サミット（11市町）や鵜飼サミット（14市町）、中部歴史まちづくりサミット（16市町）、信長公居城連携協議会（4市）など、様々な自治体と連携を図りつつ歴史観光のPRを行っている。

これらに加え、岐阜県との連携や県内の日本遺産認定市町（4件）との連携、城下町に関する日本遺産認定市町との連携、近隣県に所在する戦国時代に関する市町との連携を強化し、スケールメリットを活かしたPRや広域観光の取り組みを推進する。

## **(6) 日本遺産事業の自走に向けた財源確保**

日本遺産事業の自走には、安定的な財源を確保することが重要であるが、官民それぞれが経常的に行う事業に、日本遺産を位置付けることも大切である。

現在、協議会が主となって行う事業の財源は、市からの負担金に加え、国や県の補助金を活用して賄っているが、岐阜市の日本遺産全体における事業費の比率としては一部であり、大半は、市や外郭団体が行う観光や文化財保護の事業、民間の事業として位置付けられている。

今後も、官民それぞれが経常事業に日本遺産を位置付けて取り組むとともに、岐阜市においては、ふるさと納税（元気なぎふ応援寄附金）のメニュー追加や、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング型ふるさと納税の活用、国・県の補助金活用等によって協議会が財源確保できるよう、収入の間口を広げる。

民間事業者においては、「信長公のおもてなし」を活用した体験ツアーの提供や商品開発のほか、WGにおけるおもてなしの本質の研究から新たな事業を創出することで、収益を得られる体制の構築に取り組む。さらに来訪者の増大、観光消費額の増加により、民間主導の自立的な事業展開の促進を図る。

#### (4) 構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

日本遺産の構成文化財である岐阜大仏は、日本三大仏とも呼ばれ、乾漆仏としては日本一の大きさを誇る。世界遺産の美濃和紙と長良川流域の竹を使ったこの籠大仏は、文化的景観の重要な構成要素のひとつでもある。岐阜大仏では、大仏を背景にジャズコンサートや、3次元測量により作成した3D映像の投影を行うなど、ユニークベニュー事業が進められている。

他の構成文化財においても、**調査**を進めその価値を明らかにするとともに、**ユニークベニュー事業**の可能性を広げ、積極的に事業展開を図っていく。また、**文化財保存活用地域計画**や**日本遺産に関わる個別の計画**の取り組みを推進することで保存と活用の好循環を生み出していく。

##### (1) 日本遺産構成文化財を活かしたユニークベニュー事業の展開

岐阜大仏等の構成文化財を背景に、地域に伝わる民話の朗読や映像上映、コンサートを実施する「岐阜文化再発見民話ライブ」や、岐阜公園や織田信長居館跡、川原町等の日本遺産エリアを舞台としたイベント「灯り物語」等の「伝統・歴史」×「新ジャンル」のコラボレーションによるユニークベニュー事業を通じて、日本遺産の新たな魅力、「岐阜市にしかない」感動の創造・掘り起こしを行う。

また、事業を通じて構成文化財の価値や魅力を伝えることで、シビックプライドや歴史文化を大切にする意識の醸成を図るとともに、新たな観光商品の開発・販売につなげる。

##### (2) 日本遺産構成文化財の調査成果の積極的な公開、保存継承

構成文化財である岐阜城跡の発掘調査や岐阜大仏の3次元測量映像等の調査成果を広く公開することで、岐阜の歴史文化への関心が高まり、来訪者が増加する。

岐阜への来訪者が日本遺産・信長居館発掘調査案内所等で日本遺産の情報に触れ、気軽に参加できるプログラムやツアーを体験することで、個別の構成文化財だけでなく、日本遺産ストーリーにも関心を持ち、リピーターとなって何度も来訪するサイクルを生み出す。

また、マーケティング調査による満足度や再訪意向率等による外部からの評価や、普及啓発事業を通じて、市民の日本遺産や構成文化財に対する関心が深まることで、文化財の維持管理に理解を持つ人が増え、市民の誇りや愛着の醸成、寄附や清掃ボランティア等への参加者増等につなげていく。

- ・長良川の鵜飼の鵜舟造船等、持続可能な鵜飼に向けた取り組みを推進する。《拡大》
- ・岐阜大仏の調査及び将来に向けた整備の検討を行う。《拡大》
- ・岐阜まつり総合調査を実施する。《拡大》
- ・岐阜和傘の経済産業大臣による伝統的工芸品指定に向けた調査を行う。《拡大》

### (3) 文化財保存活用地域計画や個別の保存活用計画による取り組みの推進

下記の計画に基づく構成文化財の取り組みを、日本遺産と連携して推進することで、保存と活用の好循環を作り出し、次世代へ継承していく。

- 『岐阜市文化財保存活用地域計画』 (R2.7 認定)  
岐阜市全域の歴史・文化を保存・活用するための方針と取り組みを記載。方針に基づく 98 の事業のほか、重点事業として、「国史跡岐阜城跡」、「長良川鵜飼文化」、「長良川中流域における岐阜の文化的景観」の保存・活用事業を挙げている。
- 『長良川中流域における岐阜の文化的景観整備計画』 (R3.3 策定)  
文化的景観に関する事業として、「修理・修景に関わる事前事業」、「拠点施設整備事業」、「重要な構成要素の追加・選定範囲の拡大」、「PR 事業」、「自然・眺望体感事業」、「習慣・文化（行事・工芸等）調査発展事業」、「担い手・語り手等人材育成事業」、「まちづくり会等支援・連携事業」、「防災事業」を記載。
- 『長良川の鵜飼漁の技術保存活用計画』 (R3.7 認定)  
鵜飼の保存・活用・調査研究のテーマごとに、将来にわたり実施すべき措置 51 件を記載。そのうち、計画期間（令和 3～7 年度）に実施する措置として 13 件を位置付けている。  
保存 …鵜匠家支援の仕組みづくり、保存会の役割強化、後継者育成のための記録作成、船頭の技術向上、鵜舟の安定供給、後継者の確保及び育成、情報のリスト化  
活用 …市民ガイドの育成、オンラインイベントの開催、ガイダンス施設の機能強化  
調査研究…地域固有性を明らかにするための調査研究の推進、市民参加型の調査研究体制の構築、写真・映像の収集と整理
- 『史跡岐阜城跡保存活用計画』 (R3.12 策定予定)  
岐阜城跡の調査成果や現状と課題、本質的価値や方針等を整理して記載。基本理念として「魅力発見☆発信↻発展↑ 未来へつなぐ岐阜城跡」を設定し、調査、保存、活用、整備、運営体制の基本方針やそれぞれの取り組みの方向性、方法を示す。
- 『史跡岐阜城跡整備基本計画』 (R3.12 策定予定)  
岐阜城跡の調査、保存、活用、整備に関する計画や、周辺整備との連携など 107 件の取り組みと事業スケジュール等を記載。  
そのうち、重点事業として、「山上部発掘調査の推進」、「山上部の城郭景観の復元」、「山麓居館庭園・ガイダンス施設整備」の 3 つを重点事業として位置付ける。

## (5) 他の観光施策との連携

### (1) 日本遺産と連動した岐阜市観光ビジョンの推進

「岐阜市観光ビジョン」では、市全体の観光の取り組みとして、日本遺産と連動した以下の5つの重点アクションプランが記載されている。

#### ①戦国城下町の観光活用

市民を含む観光客に日本遺産エリアの魅力や価値を感じてもらえるよう、本物の観光資源を活かした面としての魅力創出、回遊性向上、戦国城下町ブランド確立を図る。

- ・戦国城下町の保存・利活用の推進 景観まちづくり活動支援、伝統工芸品の保存・活用等
- ・戦国城下町のブランド化の推進 大河ドラマを契機とした情報発信等
- ・戦国城下町における魅力の創出 岐阜公園再整備、観覧船造船所の魅力向上等
- ・戦国城下町におけるおもてなしの推進 マップ・サインの作成、駐車場、駐輪場機能の充実等
- ・戦国城下町の魅力活用の推進 ガイド育成、レンタサイクルを活用した周遊ルート開発等

#### ②岐阜ゲートウェイ化

岐阜県内各地や名古屋、京都等への観光の「ハブ拠点」として宿泊客の誘致を図るため、宿泊環境向上や喫茶店モーニングサービス等独自の文化の発信による市内回遊の促進、滞在時間の延長を図る。

- ・インバウンドをはじめとする宿泊客誘致の促進 海外プロモーション、宿泊環境向上等
- ・宿泊客の市内回遊の促進 夜の観光や喫茶店モーニングサービスの発信等
- ・宿泊客へのおもてなしの推進 公衆無線LAN、決済環境整備、トイレ洋式化等
- ・広域連携の推進 関係市町との広域連携、周遊・滞在型観光造成等

#### ③岐阜観光ブランド・魅力創出

日本遺産の構成文化財や長良川温泉等の既存観光資源の磨き上げの他、市民と共に新たな魅力を創出する取り組みを行い、岐阜への来訪・滞在・消費を促進する。

- ・既存観光資源の磨き上げ 鶺鴒観覧船事業の魅力向上
- ・魅力発見・魅力創出 地場製品の活用、魅力創造
- ・魅力発信・啓発 市民向け観光資源の情報発信

#### ④シビックプライド醸成、オール市民ツーリズム

市民が日本遺産をはじめとした歴史文化を誇りに思えるよう、市民意識の向上のみならず市民参加の機会を創出することで、観光振興をオール岐阜で取り組む。

- ・市民の観光意識の醸成・観光人材の育成 市民向け市内観光の推進
- ・市民による観光おもてなしの推進 市民によるおもてなし機会の強化
- ・市民の情報発信の強化 市民への観光情報提供の強化

#### ⑤MICE への本格展開

大きな集客力を持つ全国イベント誘致や、構成文化財を活用したユニークベニュー等による受け入れ態勢を充実することで、MICE 都市としてのブランド力向上を図る。

- ・MICE 都市としてのブランド化、MICE の積極的な誘致 スポーツイベント、国際会議の誘致
- ・関係者の連携による MICE の2次展開の推進 MICE 前後のまちなか観光周遊促進等

## (2) ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画の推進

岐阜市では、長良川の歴史や文化、景観を生かし、魅力的な水辺空間の形成に向けた取り組みを推進するため、日本遺産エリアでもある、鵜飼い大橋辺りから長良橋下流付近を対象地域とする『ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画』を策定し、令和3年3月に国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録された。

長良川の自然や人々の営みを物語る歴史や文化といった資源を磨き上げ、国内外に発信し、市民のシビックプライドの醸成と地域経済の活性化につながることで、1000年先も継承し続ける魅力と賑わいに満ちた持続可能なかわまちづくりを地元や関係団体等が連携して、ソフト・ハード両面の取り組みを推進し、日本遺産の価値向上につなげる。

**基本方針** : 「守る」 — 川がもつ本物の魅力と川文化を守る  
「親しむ」 — 川がもつ本物の魅力に親しむ  
「創る」 — 川の新たな魅力を創る

### ソフト施策 :

#### 【新規施策】

灯りの都・岐阜、水上座敷、朝市・夜市（マルシェ）、鵜飼栈敷、川舟スクールの開校、川舟ラボの開講、川漁師の育成、船上の遊宴文化の継承、SUP・カヤック等水上アクティビティ、両岸渡し船の運航

#### 【継続施策】

遊覧船・花見船運航、鵜舟の船大工育成、世界農業遺産 GIAHS 鮎の日記念イベント、環境学習、自然体験学習、川原町・鵜飼まちたんけん、クアオルト健康ウォーキング、花火大会 等

### ハード整備 : 計画期間 R3～R7

- ・長良川左岸水辺拠点の創出（河道掘削、砂礫河原再生、階段護岸、坂路整備等）
- ・長良川右岸プロムナード整備（電源整備、階段護岸の補修等）
- ・旧いとう旅館整備・活用

### 組織体制 : 【ぎふ長良川水辺空間活用協議会】

金華自治会連合会、長良自治会連合会、鵜飼屋景観まちづくり協議会、川原町まちづくり会、(公財)岐阜観光コンベンション協会、岐阜長良川温泉旅館協同組合、岐阜商工会議所、長良川漁業協同組合、長良川鵜飼鵜匠、岐阜市  
オブザーバー：国土交通省木曾川上流河川事務所、岐阜県商工労働部観光国際局

#### 【シンキングチーム】

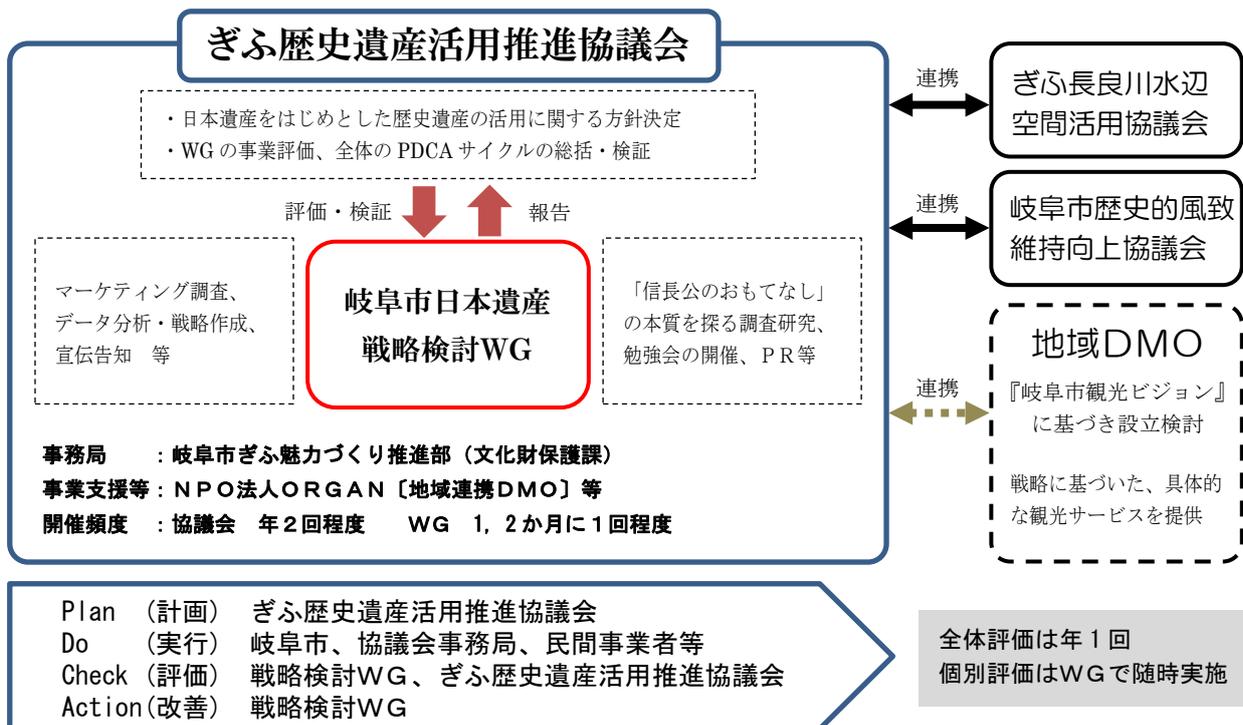
NPO 法人 ORGAN、NPO 法人長良川環境レンジャー協会、長良川リバースケープ LLP、(公財)岐阜観光コンベンション協会、岐阜長良川温泉旅館協同組合、岐阜商工会議所、協同組合岐阜市土産品協会、学識経験者、岐阜市  
オブザーバー：国土交通省木曾川上流河川事務所、岐阜県商工労働部観光国際局

## (6) 実施体制

令和2年度には、教育委員会が所管していた事業の一部を市長部局に移管し、文化財、博物館、観光、文化芸術、スポーツ等の施策を一体的に推進する「**ぎふ魅力づくり推進部**」を設置、日本遺産事業の事務局はぎふ魅力づくり推進部文化財保護課が担うこととなった。また同年に放送された大河ドラマ「麒麟がくる」に合わせて同部に大河ドラマ推進課を設置し、日本遺産事業と連携した取り組みを実施してきた。

令和3年度からは、日本遺産に加えて岐阜市版日本遺産となる「ぎふ歴史遺産」に対象を広げ、日本遺産を核とした歴史文化の活用を推進するため、組織を「**ぎふ歴史遺産活用推進協議会**」に発展させ、全体のPDCAサイクルを総括・検証する組織として位置づけるとともに、協議会の下に将来ビジョン実現のための**WG**を新たに設置し、実効性のある日本遺産事業推進体制の構築を図る。

また、「ぎふ長良川水辺空間活用協議会」、「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」等と連携を図るとともに、『岐阜市観光ビジョン』に基づき地域DMO設立が検討されるにあたり、本協議会で検討・実施する事業の情報を共有しながら、将来的な連携体制を検討していく。



※その他、岐阜市文化財審議会及び個別の文化財の保存・活用のため設置された委員会等と連携を図る。【P15】

### [民間事業者との連携]

ぎふ歴史遺産活用推進協議会の構成団体には、岐阜商工会議所、岐阜市旅館ホテル協同組合が含まれているが、さらなる民間事業者との連携を推進するため、協同組合岐阜土産品協会を加え、体制強化を図る。

また、協議会の下に設置するWGに、直接関係する観光事業者や市民団体等に参加いただき、情報共有・連携を図る体制を構築するとともに、同じ方向性を共有することで、日本遺産を活かした一体感のある地域づくりを推進する。

### 【各種委員会・研究者との連携】

主要な日本遺産構成文化財では、委員会を設けて調査研究の指導を受けている。各委員会及び個別の委員から、日本遺産の観点からアドバイスをいただきながら、取り組みを進めていく。

#### 【岐阜市文化財審議会】

日本遺産との関わり…市内の文化財の調査、価値付けを行う。

委員 8名（全て学識経験者）  
会長 森田 晃一 岐阜大学教授（歴史）

#### 【史跡岐阜城跡整備委員会】

日本遺産との関わり…おもてなしの舞台となった岐阜城跡の調査、保存、整備を行う。

委員 11名（全て学識経験者）  
委員長 中井 均 滋賀県立大学名誉教授（城郭史）

#### 【岐阜市長良川鶉飼習俗総合調査委員会、岐阜市長良川鶉飼習俗総合調査専門委員会】

日本遺産との関わり…岐阜の鶉飼の地域固有性や価値の調査を行う。

調査委員 8名（うち、学識経験者7名）  
委員長 杉山博文 岐阜女子大学理事長（民俗）  
専門委員 7名（全て学識経験者）  
委員長 宇田 宗平 国立民族学博物館准教授（生態人類学）

#### 【岐阜市長良川中流域の文化的景観検討委員会】

日本遺産との関わり…日本遺産エリアの壮観なおもてなしの風景を活用、継承する。

委員 15名（うち、学識経験者7名）  
委員長 丸山 宏 名城大学名誉教授（造園・景観）

#### 【岐阜大仏保存整備懇談会】

日本遺産との関わり…日本遺産構成文化財の岐阜大仏の調査、整備の検討を行う。

委員 4名（全て学識経験者）  
委員長 清水 重敦 京都工芸繊維大学教授（建築史、都市計画）

#### 【岐阜まつり文化財検討委員会】

日本遺産との関わり…戦国城下町の祭礼である岐阜まつりの調査、価値付けを行う。

委員 8名（うち、学識経験者5名）  
委員長 日比野 光敏 愛知淑徳大学教授（民俗）

(7) 地域活性化計画における目標と期待される効果

期待される効果	<p>① マーケティング調査に基づく戦略立案と事業の推進により、日本遺産の魅力が向上し、宿泊者の増加、観光消費額等が増加する。</p> <p>② 日本遺産の調査研究・普及啓発を通して、子どもから大人まですべての市民が地域の文化に誇りを感じることで、市民がおもてなしの当事者として活躍し、文化財の次世代への継承につながる。</p> <p>③ 民間主体の日本遺産の取り組みと事業連携、情報共有により、経済の活性化や一体感のあるまちづくりにつながる。</p>
---------	--

設定目標 I : 日本遺産を活用した集客・活性化						
観光客入込み数		具体的な指標：主要施設観光入込者数（鵜飼・岐阜城・長良川温泉）				
年度	実績			目標		
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	598,687 人	626,304 人	648,513 人	446,000 人	499,000 人	397,000 人
目標値の設定の考え方及び把握方法		<p>「将来ビジョン 1. 観光振興」の主要指標。日本遺産を訪れる際の中心施設である鵜飼観覧船乗船者数・岐阜城天守閣入館者数、長良川温泉宿泊者数を指標に設定することで、観光客入込者数の状況を把握する。各数値の今後の見通しを基に作成。令和 5 年度は天守閣耐震工事に伴う閉館により減少の見込み。岐阜市観光統計により把握。</p>				
関連事業		4-②・③、5-①、7-①・②				

設定目標 I : 日本遺産を活用した集客・活性化						
外国人観光客数		具体的な指標：長良川温泉組合加盟施設の外国人宿泊者数				
年度	実績			目標		
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	13,506 人	26,263 人	37,483 人	100 人	10,000 人	25,000 人
目標値の設定の考え方及び把握方法		<p>「将来ビジョン 1. 観光振興」の主要指標。長良川温泉組合加盟施設の外国人宿泊者数を指標に設定。日本遺産エリアの外国人観光客数増減の傾向が把握できる。JNT0 の今後の見通しを参考に作成。岐阜市観光統計により把握。</p>				
関連事業		5-⑧、7-②				

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
宿泊者数		具体的な指標：岐阜市内の宿泊者数				
年度	実績			目標		
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	556,600 人	691,574 人	633,766 人	350,621 人	375,000 人	400,000 人
目標値の設定の考え方 及び把握方法	「将来ビジョン1. 観光振興」の主要指標。市全体の観光客入込者数の状況を把握できる。今後の見通しを基に作成。観光庁宿泊旅行統計調査により把握。					
関連事業	4 - ④・⑤・⑥、5 - ③・⑧、7 - ②					

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
観光客の再訪意向率		具体的な指標：宿泊者の再訪意向率				
年度	実績			目標		
	—	—	平成 30 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値			36.0%	37.0%	38.0%	39.0%
目標値の設定の考え方 及び把握方法	「将来ビジョン1. 観光振興」の主要指標。再訪意向率を把握することで、観光客の満足度や今後のリピーター増加状況を把握できる。観光ビジョンアンケートの実績から年1%の伸び幅を設定。宿泊施設におけるアンケートにより把握。					
関連事業	4 - ①・⑦、5 - ②・③・⑨					

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
経済効果		具体的な指標：宿泊者一人当たりの観光消費額				
年度	実績			目標		
	—	—	平成 30 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値			25,535 円	26,000 円	26,500 円	27,000 円
目標値の設定の考え方 及び把握方法	「将来ビジョン1. 観光振興」の主要指標。岐阜市に宿泊した観光客の一人当たりの観光消費額を把握することで、経済効果の傾向を把握できる。観光ビジョンアンケートの実績から年500円の増加を想定。宿泊施設におけるアンケートにより把握。					
関連事業	5 - ⑧					

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
地域の文化に誇りを感じ る住民の割合		具体的な指標：岐阜市民であることに誇りを感じる割合				
年度	実績			目標		
	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	51.1%	52.7%	51.1%	52.1%	52.6%	53.1%
目標値の設定の考え方 及び把握方法		「将来ビジョン2. シビックプライド醸成」の主要指標。普及啓発の取り組みを通じてシビックプライド醸成を図る。令和元年度の実績値から年0.5%の伸び幅を設定。市民意識調査により把握。				
関連事業		3 - ③、6 - ①・②				

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
観光資源が豊かなまちと 感じる住民の割合		具体的な指標：織田信長ゆかりの岐阜城やぎふ長良川の鶺鴒 などの観光資源が豊かなまちと思う割合				
年度	実績			目標		
	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	49.9%	48.4%	54.7%	56.9%	57.4%	57.9%
目標値の設定の考え方 及び把握方法		「将来ビジョン2. シビックプライド醸成」の主要指標。日本遺産をはじめとした地域の歴史遺産に対する認知度、普及啓発事業の効果が把握できる。2019年の実績値から毎年0.5%の伸び幅を設定。岐阜市の市民意識調査により把握。				
関連事業		6 - ①・②				

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
日本遺産の認知度		具体的な指標：日本遺産関連イベントにおける日本遺産の認 知度アンケート				
年度	実績			目標		
	—	—	令和元年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値			68.4%	69.0%	71.0%	73.0%
目標値の設定の考え方 及び把握方法		「将来ビジョン2. シビックプライド醸成」の主要指標。日本遺産に対する認知度と普及啓発事業の効果が把握できる。令和元年度歴史講座の実績値から毎年2%の伸び幅を設定。信長塾、信長学フォーラムその他イベントでのアンケートにより把握。				
関連事業		2-①、4 - ⑧、6 - ②				

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
日本遺産の認知度		具体的な指標：日本遺産・信長居館発掘調査案内所来場者数				
年度	実績			目標		
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	11,338 人	13,974 人	18,215 人	17,000 人	20,000 人	25,000 人
目標値の設定の考え方 及び把握方法	「将来ビジョン2. シビックプライド醸成」の主要指標。情報センターの役割を果たしている案内所において、日本遺産の全体像を知っていただくことで、日本遺産の認知度向上を図る。					
関連事業	3 - ①、4 - ①・②・③・⑧					

設定目標Ⅲ：日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立						
日本遺産のための ふるさと納税件数		具体的な指標：日本遺産に関連するふるさと納税の件数（元 気なぎふ応援寄附金・公開分）				
年度	実績			目標		
	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	44 件	47 件	71 件	54 件	59 件	64 件
目標値の設定の考え方 及び把握方法	「将来ビジョン3. 産業活性化」の主要指標。ふるさと納税（元気なぎふ応援寄附金）の観光、歴史に関するメニューの納税件数により、日本遺産の普及啓発事業の効果が把握できる。過去3年の平均値54件から毎年5件増を設定。					
関連事業	1 - ②、4 - ①・②・③・⑤・⑥					

設定目標Ⅲ：日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立						
日本遺産への協力団体数		具体的な指標：協議会及びWGの延べ開催数				
年度	実績			目標		
	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	3 回	2 回	1 回	6 回	8 回	10 回
目標値の設定の考え方 及び把握方法	「将来ビジョン3. 産業活性化」の主要指標。令和3年度に体制強化した会議等の積極的な開催と民間事業者の参加を通じて、日本遺産の取り組みの活性化を図る。					
関連事業	1 - ①					

設定目標Ⅲ：日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立						
日本遺産の旅行商品数		具体的な指標：日本遺産を活用した旅行商品（ツアー）の実施数				
年度	実績			目標		
	平成 30 年	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値	11 件	62 件	282 件	310 件	341 件	375 件
目標値の設定の考え方及び把握方法	「将来ビジョン3. 産業活性化」の主要指標。美濃国戦国案内人等の有料ガイドツアーの実施数。実績値から毎年 10%の伸び幅を設定。					
関連事業	3 - ①・②、5 - ④・⑤・⑥					

設定目標Ⅲ：日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立						
土産品売上高		具体的な指標：岐阜市土産品協会における土産品売上高				
年度	実績			目標		
	—	—	平成 29 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
数値			4,567 千円	3,000 千円	3,750 千円	4,680 千円
目標値の設定の考え方及び把握方法	「将来ビジョン3. 産業活性化」の主要指標。岐阜土産品協会における岐阜市に関する土産品の売上高。実績値から毎年 25%の伸び幅を設定。					
関連事業	2 - ①、5 - ③・⑤・⑥					

(8) 地域活性化のために行う事業			
(8) - 1 組織整備			
(事業番号 1 - ①)			
事業名	日本遺産事業推進体制の強化		
事業内容	『ぎふ歴史遺産活用推進協議会』の下にWGを設置。民間団体の幅広い参加を呼びかけ、より実効性の高い推進体制を構築する。		
実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会		
事業期間	令和 3 ~ 5 年度		
事業評価指標	法人パートナー等との連携強化	具体的な指標	協議会及びWGの延べ開催数
実績値	平成 27 年度：3 回 平成 28 年度：2 回 平成 29 年度：1 回		
目標値	令和 3 年度：6 回 令和 4 年度：8 回 令和 5 年度：10 回		
事業費	令和 3 年度：8,142 千円 令和 4 年度：9,000 千円 令和 5 年度：10,000 千円		

(事業番号 1-②)

事業名	日本遺産に関連したふるさと納税推進事業		
事業内容	岐阜市のふるさと納税における、日本遺産や構成文化財を対象とした納税メニューの追加。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3～5年度		
事業評価指標	協議会の収益額	具体的な指標	観光や日本遺産に関連するふるさと納税件数
実績値	平成30年度：44件 令和元年度：47件 令和2年度：71件		
目標値	令和3年度：54件 令和4年度：59件 令和5年度：64件		
事業費	令和3年度：0千円、令和4年度：0千円、令和5年度：0千円		

(8) - 2 戦略立案

(事業番号 2-①)

事業名	マーケティング調査に基づく分析及び戦略立案の実施		
事業内容	WGにおいて、アンケート調査や各種統計、データの集約、分析、共有化を行う。 蓄積したデータをもとに、令和5年度に今後3年間の事業戦略を策定し、次期地域活性化計画に反映させる。		
実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会		
事業期間	令和3～5年度		
事業評価指標	日本遺産の認知度	具体的な指標	アンケートにおける日本遺産の認知度
実績値	令和元年度：68.4%		
目標値	令和3年度：69% 令和4年度：71% 令和5年度：73%		
事業費	令和3年度：0千円、令和4年度：0千円、令和5年度：0千円		

(8) - 3 人材育成

(事業番号3-①)

事業名	有料ガイド「美濃国戦国案内人」の育成		
事業内容	日本遺産を案内する歴史観光ガイド育成を実施する。市内で活動するボランティアガイドのうち希望者を対象に研修を実施。合わせて実施するモニターツアーを通じて質の高い有料ガイドを育成する。令和5年からの自走を目指す。		
実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会		
事業期間	令和3年度～令和4年度		
事業評価指標	地域プレイヤー数	具体的な指標	戦国案内人登録者数
実績値	令和元年度：32人	令和2年度：30人	
目標値	令和3年度：35人	令和4年度：40人	
事業費	令和3年度：4,642千円	令和4年度：4,700千円	

(事業番号3-②)

事業名	ボランティアガイド「岐阜市まちなか案内人」の育成		
事業内容	ボランティアガイドの資質向上を図るため研修を実施。有料ガイドと役割分担をしながら、市全体の観光受け入れ態勢を維持・向上する。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	地域プレイヤー数	具体的な指標	まちなか案内人登録者数
実績値	平成27年度：48人	平成28年度：50人	平成29年度：53人
目標値	令和3年度：54人	令和4年度：54人	令和5年度：54人
事業費	令和3年度：296千円	令和4年度：396千円	令和5年度：296千円

(事業番号3-③)

事業名	おもてなしセミナーの開催		
事業内容	信長公のおもてなしの心を受継ぎ、オール岐阜市でのおもてなしを推進するため、観光関係者に加えて市民を対象におもてなしの心の醸成に資するセミナーを実施する。		
実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	地域プレイヤー数	事業評価指標	研修受講者数
実績値	平成29年度：480人	平成30年度：522人	令和元年度：437人
目標値	令和3年度：300人	令和4年度：400人	令和5年度：500人
事業費	令和3年度：776千円	令和4年度：731千円	令和5年度：750千円

(8) - 4 整備

(事業番号4-①)

事業名	構成文化財における日本遺産解説及び誘導看板の充実		
事業内容	日本遺産や周辺の文化財について広く認知していただくために、来訪者に分かりやすい解説及び誘導看板を作製設置する。		
実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の理解の深まりに関する満足度	具体的な指標	宿泊者の再訪意向率
実績値	令和元年度：36%		
目標値	令和3年度：37% 令和4年度：38% 令和5年度：39%		
事業費	令和3年度：1,488千円 令和4年度：1,500千円、令和5年度：1,500千円		

(事業番号4-②)

事業名	岐阜城天守閣耐震事業		
事業内容	構成文化財である岐阜城天守閣の耐震化計画の作成、耐震工事の実施、展示リニューアルを行い、来館者の安全確保及び魅力向上を図る。令和5年度に工事実施予定。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の滞在時間の増加、構成文化財の継承	具体的な指標	天守閣入場者数
実績値	平成24年度：217,227人 平成25年度：233,691人 平成26年度：240,655人		
目標値	令和3年度：226,000人 令和4年度：229,000人 令和5年度：115,000人		
事業費	令和3年度：8,566千円 令和4年度：60,000千円 令和5年度：100,000千円		

(事業番号4-③)

事業名	史跡岐阜城跡整備事業		
事業内容	史跡岐阜城跡保存活用計画、整備基本計画に基づき、発掘調査や史跡整備を計画的に実施し、新たな価値の発見や顕在化を図る。調査成果は日本遺産・信長居館発掘調査案内所等で発信する。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の滞在時間の増加、構成文化財の継承	具体的な指標	日本遺産・信長居館発掘調査案内所入場者数
実績値	平成24年度：11,338人 平成25年度：13,974人 平成26年度：18,215人		
目標値	令和3年度：17,000人 令和4年度：20,000人 令和5年度：25,000人		
事業費	令和3年度：41,130千円 令和4年度：45,000千円 令和5年度：45,000千円		

## (事業番号4-④)

事業名	岐阜まつり記録保存調査事業		
事業内容	日本遺産の構成文化財でもある岐阜まつりについて総合調査を実施し、全国的な観点からの価値づけを行う。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の滞在時間の増加、 構成文化財の継承	具体的な指標	岐阜市内の宿泊者数
実績値	平成24年度：557千人 平成25年度：692千人 平成26年度：634千人		
目標値	令和3年度：350千人 令和4年度：375千人 令和5年度：400千人		
事業費	令和3年度：5,404千円 令和4年度：5,742千円 令和5年度：1,217千円		

## (事業番号4-⑤)

事業名	鵜舟の造船・舟大工育成事業		
事業内容	日本遺産の構成文化財である長良川の鵜飼に必要な鵜舟の造船を行う。事業を通じて、次世代を担う舟大工を育成する。将来的には鵜舟の造船体験等のプログラム提供を検討する。		
実施主体	岐阜長良川鵜飼保存会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の滞在時間の増加、 構成文化財の継承	具体的な指標	岐阜市内の宿泊者数
実績値	平成24年度：557千人 平成25年度：692千人 平成26年度：634千人		
目標値	令和3年度：350千人 令和4年度：375千人 令和5年度：400千人		
事業費	令和3年度：7,000千円 令和4年度：7,000千円 令和5年度：7,000千円		

## (事業番号4-⑥)

事業名	岐阜大仏調査事業		
事業内容	日本遺産の構成文化財である岐阜大仏の調査を実施するとともに、3次元測量データ等の調査成果を活用した事業を実施する。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の滞在時間の増加、 構成文化財の継承	具体的な指標	岐阜市内の宿泊者数
実績値	平成24年度：557千人 平成25年度：692千人 平成26年度：634千人		
目標値	令和3年度：350千人 令和4年度：375千人 令和5年度：400千人		
事業費	令和3年度：728千円 令和4年度：4,800千円 令和5年度：2,500千円		

## (事業番号4-⑦)

事業名	観光ガイド手配、運用事業		
事業内容	ガイド育成事業で学んだ人材を、有料の観光ガイド「戦国案内人」として登録、受注・派遣業務を実施する。		
実施主体	NPO 法人 ORGAN		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の入込数	具体的な指標	有料ガイド利用者数
実績値	令和元年度：665人	令和2年度：452人	
目標値	令和3年度：1,500人	令和4年度：2,500人	令和5年度：3,300人
事業費	令和3年度：550千円	令和4年度：1,100千円	令和5年度：1,650千円

## (事業番号4-⑧)

事業名	民間施設における日本遺産紹介展示		
事業内容	ユニクロ岐阜加納店における常設の日本遺産紹介コーナー設置や、長良川温泉旅館における岐阜城出土金箔瓦（構成文化財）のレプリカ展示等を通じて、民間事業者と連携した日本遺産のPRを行う。		
実施主体	民間事業者		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	日本遺産の認知度	具体的な指標	アンケートにおける日本遺産の認知度
実績値	令和元年度：68.4%		
目標値	令和3年度：69%	令和4年度：71%	令和5年度：73%
事業費	令和3年度：0千円	令和4年度：0千円	令和5年度：0千円

## (事業番号4-⑨)

事業名	シェアサイクル整備		
事業内容	キャッシュレス決済、サイクルポート無人化等によって、レンタサイクル事業をシェアサイクル事業に発展させ、日本遺産を中心とした市内観光名所を周遊しやすい環境を整備する。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の滞在時間の増加	具体的な指標	シェアサイクル利用者数
実績値	平成24年度：14,859件	平成25年度：15,298件	平成26年度：17,116件
目標値	令和3年度：7,000件	令和4年度：10,000件	令和5年度：13,000件
事業費	令和3年度：24,429千円、令和4年度：18,450千円、令和5年度：18,450千円		

(8) - 5 観光事業化

(事業番号5-①)

事業名	鵜飼観覧船の高付加価値化		
事業内容	既存の鵜飼観覧船3隻を高級化し、特別なおもてなし体験を提供するなど、鵜飼観覧船事業の更なる魅力向上を図る		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の入込数	具体的な指標	鵜飼観覧船乗船者数
実績値	平成30年度：76,330人 令和元年度：91,178人 令和2年度：15,310人		
目標値	令和4年度：75,000人 令和5年度：75,000人		
事業費	令和3年度：15,000千円		

(事業番号5-②)

事業名	鵜舟及び鵜飼観覧船の船頭体験教室		
事業内容	子どもから大人まで、幅広い年齢層を対象に鵜舟及び鵜飼観覧船の操船体験事業を行う。事業を通じて、鵜飼や船頭に対する関心を高める。将来的に、体験プログラムの商品化につなげる。		
実施主体	岐阜長良川鵜飼保存会		
事業期間	令和3年度		
事業評価指標	参加者の満足度	具体的な指標	参加者アンケートによる満足度
実績値	令和元年度：100%		
目標値	令和3年度：100%		
事業費	令和3年度：412千円		

(事業番号5-③)

事業名	日本遺産エリアを舞台としたあかりイベント「灯り物語」の開催		
事業内容	鵜飼のオフシーズンの誘客促進を図るため、日本遺産エリアを舞台に構成文化財である岐阜和傘や岐阜提灯を活用した「灯り物語」を開催する。		
実施主体	G I F Uナイトビュー事業実行委員会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	宿泊者数の増加	具体的な指標	岐阜市内の宿泊者数
実績値	平成24年度：557千人 平成25年度：692千人 平成26年度：634千人		
目標値	令和3年度：350千人 令和4年度：375千人 令和5年度：400千人		
事業費	令和3年度：15,000千円 令和4年度：15,000千円 令和5年度：15,000千円		

## (事業番号 5-④)

事業名	岐阜和傘、岐阜提灯の製作体験/施設見学/販売		
事業内容	2018年にオープンした川原町の古民家を改装した複合テナント施設「長良川手しごと町屋 CASA」において、日本遺産構成文化財である伝統工芸品の製作体験/施設見学受入/販売を行う。		
実施主体	NPO 法人 ORGAN		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の消費金額	具体的な指標	テナント施設における工芸品/体験売上高
実績値	平成30年度:9,800千円 令和元年度:16,700千円 令和2年度:24,000千円		
目標値	令和3年度:25,000千円 令和4年度:28,000千円 令和5年度:30,000千円		
事業費	令和3年度:17,500千円 令和4年度:19,600千円 令和5年度:21,000千円		

## (事業番号 5-⑤)

事業名	「美濃国戦国ドラまち EXPO」の開催		
事業内容	ガイド研修と併せて実施するモニターツアー「美濃国戦国ドラまち EXPO」を通じて、まちなか観光の充実と、魅力の発掘を行う。		
実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会		
事業期間	令和3年度～令和4年度		
事業評価指標	観光客の入込数	具体的な指標	プログラム参加者数
実績値	令和元年度:152人 令和2年度:163人		
目標値	令和3年度:4,800人 令和4年度:5,600人 令和5年度:5,600人		
事業費	令和3年度:4,642千円 令和4年度:4,700千円 令和5年度:5,000千円		

## (事業番号 5-⑥)

事業名	「まいまい東海」の開催		
事業内容	日本遺産エリアを中心に、通年で100を超える様々な歴史ミニツアーや少人数体験プログラムを提供する「まいまい東海」を実施する。		
実施主体	NPO 法人 ORGAN		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	観光客の入込数	具体的な指標	プログラム参加者数
実績値	平成28年度:3,500人 平成29年度:3,136人 平成30年度:2,774人		
目標値	令和3年度:3,000人 令和4年度:3,500人 令和5年度:5,000人		
事業費	令和3年度:7,000千円 令和4年度:8,000千円 令和5年度:10,000千円		

## (事業番号5-⑦)

事業名	日本遺産エリアにおける宿泊施設等受入環境向上事業		
事業内容	長良川温泉宿泊施設における、客室や浴場の改修、高付加価値化、wi-fi設置、ロビー等の新型コロナウイルス感染症対策を行う。 加えて、宿泊施設周辺における地酒試飲所、提灯和傘体験工房の増床を行う		
実施主体	岐阜長良川温泉旅館協同組合		
事業期間	令和3年度		
事業評価指標	宿泊者数の増加	具体的な指標	長良川温泉宿泊者数
実績値	平成24年：278千人 平成25年：278千人 平成26年：300千人		
目標値	令和3年度：144千人 令和4年度：155千人 令和5年度：166千人		
事業費	令和3年度：224,150千円		

## (事業番号5-⑧)

事業名	メディア・旅行者招請事業		
事業内容	日本遺産やその構成文化財、周辺観光施設等の発信や旅行商品化につながる機会の提供を目的として、旅行雑誌や報道機関、旅行者などを岐阜市へ招請する。		
実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	岐阜市観光への理解度	具体的な指標	研修参加者数
実績値	平成29年度：34人 平成30年度：29人 令和元年度：33人		
目標値	令和3年度：30人 令和4年度：35人 令和5年度：40人		
事業費	令和3年度：1,194千円 令和4年度：900千円 令和5年度：1,000千円		

## (事業番号5-⑨)

事業名	城下町の古民家再生事業		
事業内容	旧城下町の古民家空き家をリフォームし、テナント誘致を行うことで、日本遺産エリアの活性化、回遊性を高める。		
実施主体	NPO法人 ORGAN		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	文化財を活用した民間事業の実施数	具体的な指標	再生した古民家の数
実績値	令和2年度まで5件		
目標値	令和3年度：8件 令和4年度：12件 令和5年度：20件		
事業費	令和3年度：45,000千円 令和4年度：75,000千円 令和5年度：120,000千円		

(8) - 6 普及啓発

(事業番号6-①)

事業名	「ぎふ信長まつり」給食メニューの提供		
事業内容	「ぎふ信長まつり」実施に合わせたお祝い献立の給食を提供する。献立資料等を活用して信長公の食を通じたおもてなしについて学ぶ。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	学習体験をした児童生徒の数	具体的な指標	給食を通じて学んだ児童生徒の数
実績値	平成30年度：30,347人 令和元年度：29,971人 令和2年度：29,778人		
目標値	令和3年度：29,500人 令和4年度：29,500人 令和5年度：29,500人		
事業費	令和3年度：0千円、令和4年度：0千円、令和5年度：0千円		

(事業番号6-②)

事業名	日本遺産の構成文化財に関連する出前講座の実施		
事業内容	生涯学習講座「長良川大学」の一つとして出前講座を開催。講座メニューは「日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」、「岐阜市の文化財」、「国史跡岐阜城跡・織田信長公居館について」、「長良川鵜飼再発見」、「文化的景観って何だ！？」。		
実施主体	岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	学習体験をした人数	具体的な指標	出前講座等の受講者数
実績値	平成30年度：778人 令和元年度：277人 令和2年度：10人		
目標値	令和3年度：100人 令和4年度：200人 令和5年度：300人		
事業費	令和3年度：0円 令和4年度：0円 令和5年度：0円		

(8) - 7 情報編集・発信

(事業番号7-①)

事業名	観光総合ホームページのリニューアル		
事業内容	WGの検討を踏まえ、日本遺産に関する歴史文化の紹介に加え、特産品の販売促進を図る団体や地域観光活性化に取り組む各種団体と連携したホームページに更新する。		
実施主体	(公財) 岐阜観光コンベンション協会		
事業期間	令和4年度～令和5年度		
事業評価指標	ウェブサイトページビュー	事業評価指標	ページビュー
実績値	平成30年度：522,691PV 令和元年度：556,133PV 令和2年度：398,348PV		
目標値	令和4年度：500,000PV 令和5年度：600,000PV		
事業費	令和4年度：5,000千円		

(事業番号7-②)

事業名	日本遺産を主軸とした観光プロモーション事業		
事業内容	観光展への出展や商談会への参加、観光宣伝隊を活用したPR事業等を実施する。		
実施主体	(公財) 岐阜観光コンベンション協会、岐阜市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	宿泊者数の増加	具体的な指標	岐阜市内の宿泊者数
実績値	平成24年度：557千人 平成25年度：692千人 平成26年度：634千人		
目標値	令和3年度：350千人 令和4年度：375千人 令和5年度：400千人		
事業費	令和3年度：6,818千円 令和4年度：6,818千円 令和5年度：6,818千円		